



▲さわやかな秋の下、消防技術の安全・確実・迅速な操作が競われた『所沢市消防団ポンプ車操法大会』。隊員たちの厳格な動作に観客は圧倒されました。今年も第4分団が優勝し、二連覇となりました。9月22日(日)／所沢中央消防署三ヶ島分署 (撮影：市民カメラマン・遠井洋子)

# みんなのひろば



▲約25万人の人出があった「ところざわまつり」。民踊流しやサンバカーニバル、山車の曳き回しで大いに盛り上がり、熱気あふれる1日となりました。10月13日(日)／市内中央地区 (撮影：市民カメラマン・浅見司郎)



▲岩崎獅子舞保存会の皆さんによって行われた『岩崎獅子舞』。山口地区に代々受け継がれ、市の無形民俗文化財に指定されている貴重な伝統芸です。10月12日(土)／瑞岩寺・岩崎弁財天 (撮影：市民カメラマン・木村清貴)



▲家内安全・諸願成就の祈禱やお囃子奉納が執り行われた『稲谷八幡神社やぶさめ神事』。数メートル離れた馬木から力強く矢を放って、的を射ります。県立所沢商業高等学校の生徒が子どもたちに弓の引き方を教えるなど、ほほ笑ましい場面もありました。9月29日(日)／稲谷八幡神社 (撮影：市民カメラマン・白須信一)

## おうちで食べよう! 所沢の学校給食

### 29 ふきよせごはん

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

- ◆今回の献立
- ふきよせごはん★
- 牛乳
- さんまのゴマ揚げ
- 野菜のあえ物
- みかん



#### ★ふきよせごはん

材料(4人分)

- ① 米……………2合
- ・もち米……………30g
- ・しょうゆ……………こさじ2
- ・みりん……………小さじ1
- ・カット栗……………50g
- ・鶏肉……………80g
- ・油揚げ……………1枚
- ・にんじん……………中1/3
- ・干しいたけ……………2枚
- ・しらたき……………40g
- ・糸昆布……………1g
- ・油……………適量
- ・砂糖……………小さじ1
- ・みりん……………大さじ1
- ・酒……………大さじ1/2
- ・しょうゆ……………大さじ1
- ・塩……………少々

#### 作り方

- ①米・もち米は洗ってから、しょうゆ・みりん・定量の水を加えてから、カット栗を入れて炊く。
  - ②鶏肉は細かく切る。油揚げは、油抜きをして短冊切り、にんじんは千切り、干しいたけは戻してスライス、しらたきはゆでて短めに切り、糸昆布はさっと洗い短めに切る。
  - ③鍋に油をひき、鶏肉を炒める。
  - ④にんじん、しらたき、干しいたけ、油揚げを加えて炒める。
  - ⑤砂糖、みりん、酒、しょうゆ、糸昆布を入れて、塩で味を調べて具を作る。
  - ⑥炊き上がったごはんに⑤の具を混ぜてできあがり!
- ◎具に「ぎんなん」「しめじ」などを入れてもおいしいです。

#### ここがポイント ふきよせごはんとは?

木枯らしに色とりどりの落ち葉が吹き寄せられる様子をイメージし、秋の味覚のぎんなんや栗、マツタケ・しいたけ・しめじなどのきのこ類、季節の野菜を盛り込んだごはんです。食欲の秋、ぜひご自宅でも作ってみてください。



問い合わせ 保健給食課 ☎2998-9249 ㊟2998-9167

## はっちゃん 野老っ子



「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展の先頭に立とうとする少年」という意味合いを持つボーイスカウト。今回は、その言葉を体現し、見事公益財団法人日本ボーイスカウト連盟におけるベンチャースカウト(高校生年代)で最高位の「富士章」を受章した小田祐輝さん(所沢第5団所属)をご紹介します。

富士章の受章者は、1922年から続く日本ボーイスカウト連盟の長い歴史の中で、これまでに2,706人だけという狭き門。受章者が首相官邸や東宮御所に表敬訪問することからも、この章がいかに栄誉ある章であることがうかがい知れますが、本人は「全然実感がありません。首相を表敬訪問できるのは受章者半数の約50人、その代表はくじで決めるんです」と笑います。

小田さんがボーイスカウトを始めたのは小学校1年生。「先に始めていた友人のお母さんからの誘いだったと思います。学区の違う友達とも会えるし、最初は単純に楽しかったんです」と以降15年間、キャンプなどの野外活動では火おこしや野営技術などの生きる力を学び、募金集めや清掃ボランティア、被災地支援などで奉仕の心を養いながら「そなえつねに」のスカウト精神と技能を身に付けていきます。

#### 充実と手抜きが秋

地域の子ども会、育成会の活動に携わって15年超。秋はドッジボール大会、子ども大会、彩の国21世紀郷土祭など大規模の準備と行事が続きます。どの行事も多方面からたくさんの人たちが関わり、力を出し合います。結果、大人・子どもに関わらず地域のひとと人がつながり、大きな人の輪の輪の輪もできます。まさに「充実の秋」です。その反面、家事は「手抜きの秋」となりますが、家族は忍耐をもって応援してくれます。私は幸せ者です。



### より良き社会人を目指して…

小田 祐輝さん(小手指南在住)

その後スカウト活動の経験を重ね、炊事章や野営章などの5つの技能章、奥日光での雪中キャンプや東日本大震災における長野県栄村での復興支援、高校3年間のバンド活動とCD自主制作といった3つのプロジェクトアワード、宗教章の取得で受章条件を満たし、合わせて日ごろのスカウト活動の実績が認められ、今回の受章となりました。

「3年前に富士章の獲得を公言してから、渡邊隊長と二人三脚でやってきました。自分1人で取れたとは思っていません。隊長だったから受章できたようなものです」と尊敬する隊長への感謝の意を表しながら、「今度は自分が後輩にとって隊長のような存在になり、第5団2人目の富士章受章者を輩出したいです」と後輩の指導にも意欲を見せる小田さんのもう一つの夢は特別支援学校の先生になること。「ボーイスカウトにもいろいろな子どもたちがいます。そんな子どもたちとの経験を社会でも生かしたいです」と話してくれました。ボーイスカウトの目的である「より良き社会人を目指して」の達成にもつながるこの夢は、ぜひ実現してもらいたいです。



▲長野県栄村での復興支援の様子(左から3人目)

## ところざわ 歴史まめ知識



所沢の市域に関わる歴史的事項を50音順に紹介しています。今号は「り」です。



### 陸軍航空学校本館

大正8年(1919)、フォーールド佐らの航空教育団の指導を受けた陸軍は、所沢飛行場内に「陸軍航空学校」を設立しました。翌年に学校本館として建設されたのが写真奥の建物です。のちに偵察や射撃などの教育課程が別の場所に移り、所沢では操縦の基礎と機関工術を教えました。昭和10年には機関科が独立して陸軍航空技術学校が開校しますが、2年後に立川へ移転し、昭和13年に、機能の一部を引き継いだ所沢航空整備学校の本館となります。戦後は米軍が、基地返還後は税務署として一時期利用され、昭和58年、野球場建設のため取り壊されました。



▲旧陸軍航空学校本館(現在の西新井交差点より)

### 両界曼茶羅

柳瀬地区東福寺には、戦国時代の永禄12年(1569)に製作された両界曼茶羅が残っています。金剛界曼茶羅では9つの区画に仏が細かく配置され、胎藏界曼茶羅の構図は中央の大日如来がひととき目を引きまします。一定の秩序に基づいたこれらの図像によって、悟りの世界の深淵さが表現されているといえます。密教寺院において大変重視され、日常的に用いられたため傷みも早く、古いものは貴重です。この永禄12年の両界曼茶羅は市の有形文化財に指定されています。

### 亮盛

江戸時代中期の僧侶。享保8年(1723)、現在の埼玉県三郷市に生まれ、奈良の長谷寺で修業したのち、金乗院(山口観音)の第十八世住職となりました。本堂や開山堂を建立し、開山堂には、高野山地蔵院の本尊を模したという珍しい姿の石造の地蔵菩薩を安置しています。また三ヶ島妙善院の住職元果とともに、金乗院を一番札所に、妙善院を三十三番とする「狭山三十三番観音霊場」を創設しました。

問い合わせ 生涯学習推進センターふるさと研究グループ ☎2991-0308 ㊟2991-0309

## 誰でもエッセイ

### 桜と紅葉の秋

◆テーマ「○○の秋」◆  
孫たちに誘われて、行く先定め一日ドライブに出かけた。朝夕の寒さも身にしみぬるようになり、遅い紅葉にでも出会えればラッキーとの思いでひたすら山の方向を目指した。車窓からの山の木々は枯葉も目立つようだったが、ありも鮮やかな紅葉。そしてなんと桜の花のおまけ付き。春のあの華々しさとは違い、小さな花は誰に見せるでもなく、花自身が咲く喜びを味わっているような風情があった。ささげ用意した弁当を広げ、ささやかな寒。冬も間近な季節、でも見上げれば温かささえ感じられる。一石二鳥ならぬ一足二景でも例えたくなるような、晩秋の一日を過ごせた。

### 音楽の秋

宮本町 竹内和枝  
私は老人ホームに入居している。今は週一回